

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
322 災害時医療救護活動事業

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	3	地域医療・健康危機管理体制の充実
基本方針	3	災害医療体制の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		地域医療対策費	
	大事業		地域医療対策事業	
事項		災害医療体制強化事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	平成23年度	～	平成29年度
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	和歌山市地域防災計画		
担当課・担当課長 (Tel)	総務企画課	松浦 英夫(488-5109)	
関連課	総合防災課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
				○
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	災害時において、市民に対し適切で迅速な医療救護活動が行えるよう医療救護体制を確立する。	訓練、意見交換会等に基づき、 ・災害時、医療救護班の編成及び派遣 ・医療救護所の設置・運営 ・傷病者の受け入れ調整 ・医療施設の被害状況や空床状況及び活動状況の把握 ・被災地医療ニーズの把握等を実施 継続的な事業として、 ・災害直後に対応する衛生材料、資機材の備蓄 ・医療救護本部の機能強化				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		災害時医療救護訓練 災害時医療体制の構築 意見交換会の開催 災害時トリアージ訓練 旧城南病院解体撤去	災害時医療救護訓練 災害時医療体制の構築 意見交換会の開催 災害時トリアージ訓練 備蓄倉庫新設及び旧城南病院跡地整備	災害時医療救護訓練 災害時医療体制の構築 意見交換会の開催 災害時トリアージ訓練	災害時医療救護訓練 災害時医療体制の構築 意見交換会の開催 災害時トリアージ訓練	災害時医療救護訓練 災害時医療体制の構築 意見交換会の開催 災害時トリアージ訓練

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
事業費等	事業費	2,709	60,448	125,740	100,175	1,867		1,867		1,867		
	伸び率 (%)	-	-	4541.6%		-98.5%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員		13,187	13,187	12,923	13,187		13,187		13,187	
		非常勤職員										
		小計		13,187	13,187	12,923	13,187		13,187		13,187	
	千円	国庫支出金										
県支出金					365	660						
市債			42,200	92,200	96,800							
その他												
一般財源(税等)		2,709	18,248	33,540	3,010	1,348		1,348		1,348		
所要人数	常勤職員		1.74	1.74	1.74	1.74		1.74		1.74		
	非常勤職員											
主な予算内訳		報償費536千円、管外出張旅費124千円、消耗品費527千円、食糧費24千円、光熱水費143千円、医薬材料費270千円、火災保険料9千円、管理委託料234千円										

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	医療救護訓練の回数	年度目標値				1	1	1	1	1
		実績値				1	2			
	単位	回	全体目標値	1	全体目標達成度	100.0%	200.0%			
	意見交換会の回数	年度目標値				3	3	3	3	3
実績値					4	5				
単位	回	全体目標値	3	全体目標達成度	400.0%	133.3%	166.7%			
成果指標	訓練参加人数	年度目標値				500	600	700	800	900
		実績値				606	776			
	単位	人	全体目標値	900	全体目標達成度	60000.0%	121.2%	129.3%		
	年度目標値									
単位		全体目標値		全体目標達成度						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	医療救護本部における通信手段、移動手段の確保等の機能強化、また、研修会、訓練の実施や参加による人材の資質向上等を充実させていく必要がある。
「見直し」 「改善」案	